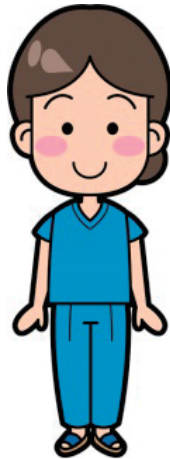


特集

ドクター紹介！在宅にかける思い



院長 越後谷先生

認知症(精神)・内科 40代 女性

／ こんな先生 ／

良き二児の母。秋田出身で、患者さんからは“秋田美人”と言われることが多い。カーマニアで休日は気になる車の試乗に出かけることも。

先生の思い

“医療者ではなく、自分の意志で死を迎える場所を選択していただきたい”
“通院が難しくても安心して家で生活していただきたい”
このような願いをもって、当院では、患者さんご家族の意思を尊重し、経験と知識を提供するとともに、総合病院や多職種との連携をして、“施設や家にいたい”という希望に寄り添い、理想的なこれからの医療のカタチを実現します。



6月、7月で南区、港南区、中区の訪問看護・ケアマネステーションを訪問させていただきました。ケアマネージャーさんから認知症（精神）・内科の患者さんが増えてきているとのことをお話を伺い、その中でも特にご質問の多かった内容を担当の越後谷先生に伺いました。

Q

認知症で内科も併せて診てもらいたい。精神疾患の傾向のある患者も診療可能か？

内科からの診療をきっかけに認知症や鬱病等の精神疾患の症状も確認、診療していくこともできます。

(例) Sさん (60代・男性)

引きこもり・精神疾患の診断は受けていない・血圧が高い
精神疾患であることは本人認めていない。

<診療内容> 血圧が高い為、内科で診療を受ける。訪問診療を重ねていくに連れ、精神疾患の特徴などを先生から説明。抗うつ剤を内服する運びとなる。現在、外にリハビリに行くまでに回復している。

Q

どのような先生か気になるが、どうか？

海外での診療経験もある知識豊富な先生です。
穏やかな人柄で親身に話を聞いてくれるので安心してお話ができます。

次号は
血液内科・村田先生の特集です!!

